

人類と観光文化の 関係性を紐解こう。



観光学部 講師

尤

XIAO

驍

YOU

略 歴

中国遼寧省出身。

2014年 大連外国语学院日本語学院卒業。同年日本に留学。

2018年 神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程前期課程修了。
同年日本学術振興会特別研究員(DC1)。

2018年5月～2019年4月 中央研究院民族学研究所訪問学員。

2023年 神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程後期課程修了。博士(学術)。

主な業績:

『現代社会におけるルカイ大頭目の権威の再構築－『伝統のシンボル』と『利他的な貢献者』』

『台湾原住民研究』(2018年、『台湾原住民研究』22号)

『台湾原住民の文化復興と文化産業化をめぐる諸問題－ルカイ・クンガダワンの黒米祭の事例を通して』(2022年、『神戸文化人類学研究』6号)

専門分野

文化人類学、先住民研究、台湾原住民研究

研究活動

私は文化人類学という学問を専攻しています。文化人類学とは、世界各地の多様な視点から「人類にとって文化とは何か」を探求する学問です。自ら異文化を経験し、その経験を通じて自文化のなかで「当たり前」と思われがちな諸概念とバイアスをひっくり返して新たな可能性を導き出そうとすることこそ、文化人類学の醍醐味だと思います。具体的な研究内容としては、私は台湾先住民ルカイを研究しています。伝統的な権威者、いわば生まれつきの貴族の人々を手がかりとして、台湾先住民の伝統的な社会階層制度と現代的な社会状況との接合について研究してきました。主に、1990年代以降盛んになった先住民の権利回復運動、伝統文化の復興運動、およびそれとともに発展した文化観光産業が、伝統的な権威者たちに与える影響について調査しています。

大阪観光大学での主な研究テーマ

大阪観光大学での主な研究テーマは、台湾先住民の文化観光の現場における伝統的な権威者とローカルNGOとの関わりを明らかにすることです。

私はこれまで、台湾の先住民の伝統的な権威者と伝統的な社会階層制度を対象として研究しました。しかし、先住民村落での調査経験から、近年盛んになった文化観光産業は伝統的な権威者と深く関わっており、大きな影響を与えていることに気づきました。現在、社会階層制度という政治人類学の古典的なテーマを理解するには、観光という事象に着目しなければならないということを意識しました。

従って、大阪観光大学では文化観光の現場における伝統的な権威者とローカルNGOとの関わりに焦点を当て、観光人類学、政治人類学、ローカルNGOをめぐる組織論を横断する研究を取り組みたいです。

担当科目と授業の醍醐味

文化人類学基礎、観光人類学、観光文化研究2

本学の「大学憲章2022」では、「(孤立から)共生へ」を1つの基本理念とし、多文化共生、異文化への理解を深めるための教育を充実させることを約束しています。私は、中国大陸出身で日本留学、そして台湾の先住民を研究している。このようなやや「奇妙」な背景をもつ私と、日本人とさまざまな国・地域から来た留学生たちが共にする授業自体は、絶好の異文化交流と多文化共生の場になると思います。

私の担当講義(文化人類学基礎、観光人類学、観光文化研究2)

では、文化人類学、観光人類学の理論蓄積と私自身の研究・調査経験を生かし、観光活動における異文化交流の実例を通して、学生の異文化への尊重と多文化共生への理解を深めることを目指します。

